

## 令和4年度 第4回お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時：令和5年2月28日（火） 午後6時30分～午後7時58分
- 2 開催場所：二宮町役場 第1会議室
- 3 出席者：お互いさま推進協議会委員（12名）欠席3名  
事務局：健康福祉部長、高齢介護課長、高齢介護課高齢福祉班長、  
高齢介護課高齢福祉班員（3名）

- 4 議題
  1. あいさつ
  2. 議題
    - (1) 「二宮町みまもりガイド」について
    - (2) 二宮町運転ボランティア養成講座について
    - (3) 地域の協議体について
      - ①山西小学校区（たんぼぼささえたい）
      - ②二宮小学校区（クローバーの笑・和・輪）
      - ③一色小学校区（いちふく）
    - (4) 令和5年度について

## 5 議事録

### 1. あいさつ

事務局 定刻となりましたので、これより二宮町お互いさま推進協議会を開会いたします。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。まずは配付資料の確認をしたいと思います。

（配付資料の確認）

それでは次第に沿って進めさせていただきます。初めに依田会長よりごあいさつをお願いいたします。

会長 （あいさつ）

事務局 ありがとうございます。続きまして傍聴者の確認ですが、本日の傍聴希

望者はおりませんので、議題に入ります。会議の進行につきましては、依田会長にお願いしたいと思います。

## 2. 議題

### (1) 「二宮町みまもりガイド」について

会長                    それではこのことについて、事務局より説明をお願いします。

事務局                それでは資料1をお願いします。こちらは最近納品されたものとなっております。「みまもり」という言葉を良く耳にするようになり、町として、どのように見守っていただきたいかを可視化し、啓発をしていくために、このガイドを作成しました。

(資料に基づき説明)

作成して終わりということではなく、皆さんの地域での集まりや、会合等があれば、是非そちらに出向き、啓発をしていきたいと思っておりますので、事務局へお声かけいただけると幸いです。また、町広報3月号にて、記事を組み、発信をします。その他、民生委員児童委員定例会やゆめクラブ定例会など、出来る部分から周知等をして、見守りの輪を広げられるような活動をしていく予定です。先ほども申しましたが、啓発できる場があれば、是非お声かけください。

会長                    字が大きくて読みやすいですね。皆さん何かご意見等ありますか。

委員                    以前、ゆめクラブの会合にてこちらのお話をいただきました。配布の方法について、どのように考えていますか。地区長などに配付をするのか、地域の通いの場だけなのか、どの程度まで配布をしていただけるのでしょうか。

事務局                地区長には共有をさせていただきます。その他の配布範囲については、作成した部数の都合もありますが、調整をしながら出来る限り配布をしたいと思っています。

会長                    発行部数は何部でしたでしょうか。

事務局                3,000部の作成をしています。

委員                    コピーはできますか。内容も分かりやすいので、カラーコピーをして

店舗に貼ろうかと思うのですが、先ほど部数が3,000部との話もありましたので。

会長 配布部数の計画はあるのでしたっけ。委員より、店舗で使用したいとお話もありましたが、そういったケースにも対応できる体制でしょうか。

事務局 コピーは問題ないと思います。また、今後町のホームページにも掲載を行う予定でおります。また、商工会、商連等、お店への周知ということも今後やっていきたいと思っております。

委員 例えば、私の店舗のようにイトインコーナーがあって、そこに掲示してお客様向けにしてもいいですが、スタッフ向けにも良いかなと思っています。やはり、お客様と接する機会が多いので、その中での見守り活動として活かせるのではないかと思います。

会長 事務局より商店への啓発についてお話がありましたが、具体的に決まっているのでしょうか。

事務局 決まっています。

会長 以前西友のお話で、買い物に来られる方への気づきがあるとお話がありました。通いの場等での啓発とはまた別で、そういった点で検討いただけると良いですね。

各自印刷等をして活用いただけるとのことでしたので、それは良いですね。

委員 通いの場に来てくださる時に、少し内容についてお話をしていただけると良いのですが。お話いただくことで理解が深まると考えます。

高齢介護課長 予定として、配布、回覧のみであると伝わらない部分もあるかと思いますが、当課で出向いた時には必ずご説明をさせていただきたいと思っています。

委員 来ていただける日を事前に教えていただければ、通いの場の中での時間を確保します。

委員 これは見守る側の視点で書いてありますが、見守られる側の方へも配

布してもいいのではないのでしょうか。例えば高齢になり、なかなか外に出てこない方がいたとして、そういった方へ配布したほうが、自身が見守られていると思うことができます。個人的にそういった方へアプローチしてみたいと思っています。あなたも見守る側へ参加してほしいと話し、是非外出するきっかけとなれば良いなと思います。

健康福祉部長 委員がおっしゃった見守る側、見守られる側ではなく、お互いに出来ることをしあって、見守りあっていこうということが、これを作成した趣旨の1つです。是非そのようにしたいとは思いますが、部数の都合がありますので、どこまでできるかはわかりませんが、配布先については、調整していきたいと思っています。

会長 他になれば次の議題に移ります。

## (2) 二宮町運転ボランティア養成講座について

会長 事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1をお願いします。昨年12月に本講座を開催しました。

(資料1に基づき説明)

講座に関しては、おおむね好評でした。また、講座を受講しただけで終わりということではなく、現在でも参加者の方と連絡を取っています。参加者の方も活動をしたいとおっしゃられている方も多く、例えばですが、大空さんへ登録をしていただき、福祉有償運送の運転手となっていただくようなこともあるでしょうし、またはデイサービスでの送迎の担い手や、以前紹介をさせていただきました「おーるうえいず」での活動ということもできます。今後も繋がりを持っていきたいと思っています。参加者の方より、先々を踏まえ、将来自分に役立つことができないかということもおっしゃっていただいて、我々としてもありがたいことであると思っています。

また、本講座には会長も参画いただいておりますので、補足等あればお願いします。

会長 二宮町が主催となった講座は今回で2回目となりました。昨年はコロナもあり、1日での講座開催となり、座学と実習を行いました。今回は、それに加えグループワークを行いました。やはりこういった機会を設けると、皆さんの考えていることや地域の情報などについて情報交換

できることが非常に良かったと思っています。また、アンケートにもありますが、地域での活動に興味を持ってくださる方もおりました。

この件に関して、何かありますか。

委員 参加者の年齢構成を見ると、幅広い年代の方が参加されているなと思います。また、この講座については是非毎年継続して行ってほしいと思います。参加された方から輪が広がることも良いかと思います。70代になると、やはり運転する方も、乗る方も危険を感じることもありますので、今回参加された年代の方が継続して参加してくださると良いですね。

委員 参加者の年齢制限はあったのですか。

会長 特にありません。

委員 例えばですが、20代の大学生に対して講習を行い、活動できるのであれば、長期休暇を利用して活動できないものかと思いました。そういった所への周知等ができないもののでしょうか。

委員 土日等を考えないといけません、若い世代が担ってくれるととても良いですね。

会長 若い世代の世代間交流とまでは言いませんが、若い世代が地域の活動に参加していない現実があるとすれば、そういった呼びかけもありかと思います。募集の方法として何かありますか。

委員 以前「もりびとNOA」や「みかんの会」の話が出ましたが、そういった方への周知や、社会福祉士の実習で来る学生等への周知ができるのではないのでしょうか。

委員 我々が若い世代と関わるきっかけについて、包括支援センターでは、毎年社会福祉士の実習生を受け入れています。実習生は、福祉のことを勉強していることもあるので、そういった意味では担い手となるかはわからないですが、勉強にはなるのではと思います。また、先ほど委員より若い世代の団体への周知の話が出ましたが、そういった団体へのアプローチはできるのかなと思っています。

会長 若い世代への的を絞れるようであれば絞っていただき、毎年開催をして

ほしいということでした。

健康福祉部長 移動支援の担い手は今後ますます必要となってきますので、地道に続け、皆さんの意思で活動していただけると良いと思っています。

会長 今後はそういった点を工夫しながら進めていただければと思います。

### (3) 地域の協議体について

会長 それではこの議題について、説明をお願いします。

委員 それでは「たんぽぽささえたい（以下、「たんぽぽ」）」より説明をさせていただきます。資料2をお願いします。

2月7日に開催をしています。前は11月に開催、その前は8月に開催をしています。前は、参加いただいた皆さんがどのような活動をされているのかを知っていただく場としました。今回は、繋がりを広げる活動をどのようにすれば良いかということをお話ししました。

(資料2に基づき説明)

続けて「クローバーの笑・和・輪（以下、「クローバー」）」について説明いたします。こちらも「たんぽぽ」と同様、活動をどのように広めていくかということについて話し合いをしています。

(資料3に基づき説明)

説明は以上です。

委員 私からは「いちふく」について説明いたします。まず、各地区の通いの場の情報交換をしています。次に、各地域の協議体、お互いさま推進協議会の情報について共有、コミユナルダイニングの利用について意見交換しています。

通いの場について、百合が丘地区は天候や内容等により左右されますが、各場所18名位の参加者がいるとのことでした。また、2丁目については、老人憩の家が改修工事に入っているため、1、3丁目それぞれに参加されています。3丁目については、一時活動を中止しておりましたが、4月より活動再開となるそうです。各地区に共通して、身体を動かすゲームのような内容となると、参加が増える状況にあるとのことでした。

また、一色地区について、13 から 14 名位の参加があるとのこと。こちらも同様ゲーム性のある運動などはかなり盛り上がることで、カーリンコンも活動に組み入れているそうです。また、東海大学の落研の方と繋がりがあり、ここ数年開催していませんでしたが、先日開催をし、皆さん楽しんだとのことでした。

緑が丘地区では、通いの場の他、サロンを土曜日に開催しています。通いの場は足が悪くて参加できない方やデイサービスと重なり参加できない方もいるそうです。11 月から昼食も挟み、時間を少しずつ伸ばしていきたいとのことでした。参加者で食事をすることで、皆さんのまとまりも出てくるので非常に良いと思っています。

サロンでは「とことんシリーズ」というものを開催しており、3 月からは温泉をテーマに開催をしていくとのこと。

通いの場全体を通し、歩いて会場へ来られる方が集まって開催をするものですが、その「歩いて来られる」ということについて、歩いて来られない場合は、通いの場へ参加できないのかという話が出ています。社協職員からも趣旨の説明はしてもらっていますが、その言葉が一人歩きしているようで、人数が減っている中で、サポートをする方がいないと運営も厳しくなっている状況があります。その中で送迎ということも考えていかないといけない、社協を含め、メゾンの方とも話をしましたが、メゾンの車両を借りて、参加者の送迎ができないか検討をして行きたいと思っています。バスもありますが、本数も減っており、時間をあわせていくことが難しいようです。

その他、湘南農協の 2 階やワークセンター等を利用すればよいのではないかとの意見も出ていますので、その辺は今後調査をしていくことになっています。

また、給食センターで昼食を取ることができると聞いたことがあり、緑が丘は給食センターが近いので、それを活用すれば良いのではないかとの話もありました。先ほども申しましたが、食事をしながら楽しむことが非常に良いことであるので、是非年 1 回でも良いので検討したいと思っています。

コミューナルダイニングについて、認知症カフェを開催しています。先日開催をしましたが、かなりの人が集まり、天気もあるかと思いますが、もう少し席数を増やすなどをして拡大していきたいと思っています。次回開催の際には、包括支援センターや、おたすけネットの話をしていただこうかと思っています。

会長

何か質問等ありますか。

委員 昼食を取っているとの話がありましたが、どのような形で取っているのですか。

委員 お弁当です。お弁当屋さんへ注文し、配送していただいています。前日までに参加の可否を確認して運営しています。また、中にはお弁当を食べない方もいらっしゃいます。

委員 お弁当代はいくらですか。

委員 550円です。また、先ほどもお話をしましたが、給食センターの活用を検討しています。

会長 給食センターで食事ができるのですか。

健康福祉部長 給食センターの食事について、これは施設の見学をしていただき、その中で昼食が取れるというものはありません。昼食だけを目的にするのは現状出来るかわかりません。また、2階のスペースについては、どの程度の人数が入れるかについても何とも言えません。10名位入れるとは思いましたが。

委員 見学を含めても良いかと思えます。内部でどのような工程があるのかは外からではわかりませんので、良い機会かと思えます。

会長 コロナもあるかと思いますが、こういった情報は共有して活用をしていければ良いですね。

委員 今回「たんぽぽ」、「クローバー」では、活動を広めていくという部分を伺いましたが、この協議会に出席いただいている皆さんからもご意見等伺えると、次の活動に繋がると思えますので、頂戴できればと思います。

会長 私も「たんぽぽ」へ参加をしました。このバスについて話が出ていましたが、使い方を地区別に作れば、より活用できるのではないかとの話がありました。良いアイデアと思いました。「ほほえみの会」は独自の時刻表を作成しているとの話も以前ありました。そういった物の活用をすることで、より買い物の機会が増えるのかなと思います。

また、「たんぽぽ」、「クローバー」は、「いちふく」のように、前段となる母体がなく、活動をスタートしているので、行っていることが分か



りづらいということがあると思います。その辺はいかがでしょうか。説明しにくい部分があるのではないのでしょうか。地区長、地区社協部会等と一緒に活動したいという希望はあっても、その辺の活動について、どのように理解をしていただいているのか分からない部分もあります。その辺はいかがですか。

委員

そういった活動があまり知られていないのではないかと思います。今日も通いの場を開催しましたが、そういった話は出てきません。私もこの協議会に参加させていただき、初めて活動をしていることを知りました。恐らく、私の地区の現地区長も知らないのではないかと思います。

委員

この協議会もどの程度知っている方がいるかわかりません。町として、この協議会をどのように位置づけているのですか。

健康福祉部長

一番のテーマは地域包括ケアシステムです。制度の中で、第1層の協議体、二宮町で言うとお互いさま推進協議会、第2層の協議体は地域の協議体です。協議体を設置し、お互いに情報交換をしながら、これからのことを皆で考えていきたいと思いますという趣旨です。二宮町の場合は、協議体を整えるにあたって、当時地域包括ケアシステムというものはどういった趣旨のものか講習会、講演会を開催し、そこへ参加をしてくださった方に集まっていただき、スタートをしています。「いちふく」は元々一色小学校区地域再生協議会があって、自治会、町内会が絡んだ中で、集まっているので、他の地区とは組織の成り立ちが違っており、今後どのように推進をしていくかは大きなテーマであると思っています。1つの方法は、自治会、老人会、地区社協部会などの集合体として活動をしていくことですが、それよりもこのお互いさま推進協議会はもっと自由な意見、実際に活動へ参加されている皆さんの発想から意見をいただき、それを我々がヒントにして町の政策に反映をしていけるものと思っています。この協議会が自治会等に知れ渡っていくことについては、今そうならなくても良いのかなど。色々な分野での活動をされている方に集まっていただいております、そこで色々な意見をいただいていることが、町へのヒントになっていると思います。今後高齢化も進み、将来的にどのように活動をしていくかということは、大きなテーマになると思いますが、そういった時でも大きなヒントになるのではないかと思います。

委員

「いちふく」は母体に一色地区地域再生協議会があり、そこから継続して活動をしています。通いの場が中心にあり、意見交換をしている状

況です。社協に関連する方、民生委員が多く参加しています。通いの場の運営方法などお互いの地区で、意見交換をして、さらに良いものへしていければと思っています。昨日もこういった方が集まり、意見交換をすると盛り上がります。給食センターの話もそうです。実際にあの場所で食事ができることを知っている方は少ないのではないのでしょうか。

また、コミューナルダイニングについても、活動を通じて、平塚で店舗を構えていた方が、空き店舗を探し、二宮町に移転することになりました。小さな繋がりですが、そういったことを大事にしながら活性化へ繋げられれば良いなと思っています。また、こういった繋がり続けていくことで、輪が広がるのではとも思います。

会長

確かに地区、自治会、町内会はどの地区にもあります。そういったところのまた違った視点で考え方が出せるのは、この協議体ならではないと思います。以前お話をしたかもしれませんが、この協議体で何かするという組織ではないです。今日も各地区より報告がありましたが、そういったことを各自持ち帰り、進めていく。情報交換をする場ではありますが、ただ情報交換をするだけではなく、持ち帰るという場として意味がると考えています。

委員より民生委員の話もありましたが、「たんぽぽ」、「クローバー」ともに民生委員の経験がある方も参加されており、地域の情報を得る良い機会でもあると捉えています。

委員

私は以前「民サポ」の話を伺い、とても良いなと思いました。地域では民生委員に参画いただいているものが多いです。後継者のこともありますので、とても参考になりました。

会長

本日みまもりガイドの話も挙がりましたが、これも民生委員の仕事の拡大版と言うのか、それをお互いさまという視点も含め、町民へ広げるということがありました。

委員

まだ活動を始めたばかりなので、これと言って大きな動きはありませんが、コロナ禍でもありますし、今まで民生委員の負担が大きいということが言われております。それは、深く入り込みすぎで、1件を丁寧にしすぎてしまっているところがあり、それでは負担が大きくなります。あまり細かく訪問活動をするのではなく、町内を歩きながら、洗濯物が干してあるかなどを見ながら、気になる方へお電話をしたり、話す中で直接話したい雰囲気を感じれば少し距離を縮めたりと、負担を軽くしながら対応をするようにしています。訪問時、女性の方でいきなり行くと、

「今はちょっと」と言われてしまう、今の状態で人に会いたくないという方もいらっしゃると思います。特にこのコロナ禍で外出の機会が減り、家の中からあまり出ないとなると、身なりのケアできていない方もおり、断られてしまうケースも多々あります。「民サポ」のメンバーで訪問する方のエリアも区分けしておりますが、改選があったばかりなので、顔つなぎということからも、現任の方を中心に訪問していただいている状況です。また、2か月に1度、訪問したお宅の状況や気になる方等を共有しています。

会長 民生委員との関係について、地域の情報を得る時など、民生委員との接触はありますか。

委員 あまり多くはないですが、とてもよくやってくださっていると思います。家族や本人があまり他の方に知られたくないという場合は、民生委員から連絡はしなくていいですよねとなっています。本人が希望する場合は連絡を取ったりします。また、民生委員から事業所へ直接連絡が来ることもあります。そこで情報交換や連携を取ったりすることもあります。民生委員が近くで見守ってくださるので、こちらもケアができると思います。

会長 包括支援センターはいかがですか。

委員 とても強い繋がりがあると思います。地域の方の情報をいただく時も民生委員からの情報が多くありますし、気になる方のご相談をいただくこともあります。気づきの第1発見者となっていただくことがありますので、我々としてもとても助かっています。

会長 色々な情報があるかと思いますが、情報が多くなるということは、お互いさまの助け合いをやっていく中では、プラスになりますね。

副会長 委員より報告のありましたコミュナルダイニングですが、地区社協で、毎週月曜日に当番制で運営をしています。最終月曜日は「いちふく」にお願いをしています。ここでコーヒー、紅茶、お茶や紙コップ等を用意しています。皆さんとても喜んで寄ってくださいます。昨日のように大勢の方に来ていただくと、入りづらいとのご意見もいただいておりますので、今後はその環境づくりについても取り組んでいきたいと考えております。

また、社協のおたすけネットですが、あんしん電話がとても喜ばれて

おりまして、先日対応した方は20分以上お話をしました。その際、病気のことや外へ出たくないとの話をしています。その他、5件位電話をしましたが、皆さん足が痛いとの話や、外へ出られないとの話、通いの場へ行くことができないとの話など色々な話が出ました。このあんしん電話は大切にしていきたいと思っています。

会長                    それではお時間となりますので、話したいこと等あれば、また次回お話いただければと思います。  
                             次の議題に移ります。

#### (4) 令和5年度について

事務局                資料4をお願いいたします。次年度の協議会ですが、例年通り4回、5月、8月、11月、2月に開催を予定しています。2層の協議体については、その前後でと考えています。また、委員よりSCだよりの発行も予定しています。  
                             続けて情報提供となります。認知症推進委員の委員より説明をお願いします。

委員                    別添資料になります。3月24日に認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を開催しますので、是非多くの方にご参加いただきたいと考えています。もし、お知り合いの方等へ周知いただけると幸いです。

事務局                ありがとうございます。本日の協議体が令和4年度最終となります。協議会の中でも健康福祉部長よりお話がありました。色々な地区があるかと思いますが、それを越えた横ぐしの部分で、この協議体は情報交換をしながら、その意見をご自身の地域に持ち帰ってから始めていただくということが一番の良いところだと思います。2層の協議体もそうですが、お互いさま推進協議会で情報を得たものについて、ご自身の地域でどのように出来るかを考えていただければと思います。小さいことでも構わないので、それが地域の底上げになると思っていますので、今後ともよろしくをお願いいたします。本日はありがとうございます。

閉会    午後7時58分